

# マゴソ通信



マゴソスクールを支える会も3年目を迎える事ができ、毎年毎年様々な困難がマゴソスクールに降り掛かる中、皆さまの力強いご支援のおかげで子どもたちの笑顔を見失わずに日々過ごす事ができています。心から感謝しております。

当会は皆さまからの会費・寄付は全てマゴソスクールに届けておりますので、諸々の経費は今までは運営委員の「自腹」でやっておりました。しかし、おかげさまで会員・寄付者が増え、嬉しい悲鳴なのですが通信費等の経費がかさみ、それを補うためグッズ販売や運営委員による講演などの事業を通じて運営費を得る努力しておりますので、ご理解とご協力をお願いします。

そして、間もなく早川千晶さんと大西匡哉さんのポレポレキャラバン 2018 春が全国を駆け巡ります。今年初め、匡哉さんのタイコの師匠マテラ長老とドゥルマ民族の伝統儀式が行われ、そこでセンゲーニャジャパンに任じられた二人の演奏を味わうため、同封しました予定表や匡哉さんのホームページ Jiwe(ジウエ) (<https://www.jiwe.site/>) 等をご参照くださり、お誘い合わせの上、ご都合の良い会場にぜひご参加くださいませ。

またまた私事ですが、この春私の娘が千晶さんのスタディツアーに参加し、マゴソスクールの子どもたちを訪れてくれました。マサイの村での「野ション」以外はとても楽しく良い経験を積む事のできた旅だったようで、これで我が家族もマゴソファミリーとなれたと喜んでおります。お世話になった皆さまに感謝しております。

尚、蛇足ではございますが、ご紹介しておりますキャラバン、スタディツアーは支える会の事業ではなく、当然会計も別ですので、当会の報告等には掲載されておりませんことをご理解ください。

3年たっても、まだまだ試行錯誤の連続の「マゴソスクールを支える会」ですが、初心を忘れず、努力を重ねて参ります。引き続きのご支援、ご指導をよろしく申し上げます。

マゴソスクールを支える会会長 大城研司

## 支える会からのお知らせとお願い

- ❖ 2018年4月現在のサポーター数は266名です。
- ❖ ご友人等にご紹介のためパンフレット・会報等が入用な場合は事務局までご連絡ください。
- ❖ 会報は、年二回、会員の方、アンケートに答えてくださった方、名刺を頂戴した方、寄付を頂いた方、様々な形でご支援して下さる方、皆様に送らせていただいております。
- ❖ 振込用紙は発送作業の都合上、全員に入れさせていただいております。ご了承ください。
- ❖ 会費の領収書は発行しておりませんが、必要な場合は事務局までお知らせください。専従スタッフがおりませんため、ご寄附のお礼(領収書)の発送が遅れますことお詫び申し上げます。
- ❖ 会報の郵送のために、未使用切手やはがきを会の事務局に送って頂くなど、ご協力いただければありがたいと思います。また、お送りくださった皆様、ありがとうございました。
- ❖ 2017年10月からアルプクエルジャパン様のご厚意で、支える会を通して野生ルイボスティの販売の代理店になって頂くと、代理店の売り上げに応じて支える会に、アルプクエルジャパン様から紹介料がいただけ、これを運営費に充てることできるようになりました。このルイボスは南アフリカのセデルベルグ山脈に自生しているものを使っており、世界で流通しているのはこの商品だけです。販売にご興味ある方は、ぜひぜひマゴソスクールを支える会までご連絡ください。

## マゴソスクールを支える会

事務局 〒511-0044 三重県桑名市大字萱町54-1  
Mail: [info@magoso.jp](mailto:info@magoso.jp) HP: <http://magoso.jp/>  
Facebook: <https://www.facebook.com/magososupportersclub/>



休みの日も子供たちがやってくる

## ダン校長先生のマゴソレポート

ダン校長先生がマゴソスクールの状況を知らせてくださいました。文中の（ゴシック文字）は記者の註です。

皆さんにご報告できることとても嬉しく思います。

マゴソスクールは、リリアン（マゴソスクールの創設者、ママチュチュと呼ばれている）のリーダーシップや早川千晶さんと日本のサポーターの皆さんの支援のおかげでとてもうまく行っています。

新学期は1月3日に始まりました。子供たちの出席状況はとてもよく、病気や事情のある場合を除いて学校を休むことはありません。先生方も休むことなく出勤し、必要な場合は週末も学校に來ています。みんな、毎日を忙しく過ごしています。

学校では様々な活動を行っていますが、先生は子供たちの夢を育むために、一緒になって活動します。特に屋外で活動するときには、しっかりと指導や見守りをしています。

### 学 習

授業は月曜から金曜まであります。学校が始まった一月、子供たちのほとんどが教科書を持っていないという問題に直面しました。それは、ケニアの教育システムが、8:4:4制から、2:3:3:3:3:3制（幼稚園2年、小学校低学年3年、中高学年3年、中学3年、高校3年、大学3年）になり、教科書が新しくなったからです。生徒と教師用の新しい教科書を購入しなければならなかったのですが、なんとかお金を工面（公立の学校では政府から補助金が出ます。）して教科書を購入し、授業を行うことができます（日本の子供たちは無償で教科書を配布されますが、マゴソでは教科書は貸与されます。また、一人1冊ではなく、数人で1冊の教科書を見えています。また、ぼろぼろになるまで使いまわします。）。生徒たちは、各自の夢に向かって勉強を頑張っています。

### 給 食

月曜日から金曜日まで給食を出しています。朝ご飯を食べないで来る子供がいるので、朝9:30にポリッジ（ヒエの粉に、お砂糖、レモンを入れて炊いたおかゆ）、昼12:40にギゼリ（赤インゲン豆と白いトウモロコシを塩で味付けして煮たもの）をだしています。この給食プログラムは子供たちにとってとても大切です。中には、ちょっとしか食べないで、残りを自分の兄弟姉妹、時にはお母さんのためにとっておく子供もいます。ときどき、自分のお皿を持ってくるのを忘れる子供もいます。そんな時は、子供たちは一皿を分け合います。こういったことが友情やチームスピリットを育むことにつながっていくのです。もちろん、健康を考えるとよいとは言えませんが…。

また、週末や休暇中にも給食を行っています。学校は1学期を4月6日で終えましたが、子供たちは学校に毎日來て、遊んだり、食べたり、ライフスキルを学んだりしています。兄弟姉妹も連れてきて一緒にお昼と食べて、午後帰っていく子供もいます。

### スポーツ

子供たちはスポーツやゲーム（試合）をするのが好きです。スポーツは、身体的、社会的、精神的、情緒的、学門的に彼らを強くしてくれます。スポーツはマゴソの子供たちがライフスキルの中でも特にひとつであるチームワークの重要性を理解する助けとなります。今、子供たちはサッカープログラムに参加しています。毎土日の午後、50名の子供たちが2時間練習しています。1月から始まったこのプログラムは1か月単位でグループが交代するようになっています。みんな楽しんで練習しています。参加できなかった子供たちもチームに入れるよう頑張っています。休日ですが、生徒たちを会場に連れて行く先生も決めています。

### ライフスキル

子供たちは、学校での様々な活動を通して、いろいろなライフスキルを学んでいます。子供たちがライフスキルを確立するためのアクティビティやプログラムをするのを、先生たちは手助けしています。ライフスキルというのは、前向きな態度を育て、人生における日々の課題に向かっているようにする力です。たとえば、創造的思考力、チームワーク力、問題解決力、分析力、公正な判断力、協調性など。こういったことを教師が教えるだけでなく、私たちは子供たち同士で学び合うピア・ラーニング（文字通りにはピア（peer：仲間）と学ぶ（learn）ことですが、対話をとおして学習者同士が互いの力を発揮し協力して学ぶ学習方法です。）も行っています。これは、子供たちの間で責任感を発達させるのにとっても効果的です。ライフスキルを学んでいるマゴソの子供たちはとても積極的で柔軟です。彼らはいつも幸せでエネルギー一杯です。

### クラブ

マゴソスクールにはクラブ活動があります。クラブ活動は社交性や各自の才能を発揮する機会となります。女の子のためのガールズクラブ。ママチュチュが責任者です。ここでは、授業では学べない料理裁縫、衛生面での自己管理の方法、思春期の問題の乗り越え方などを学びます。女の子たちは、このクラブを通して、力を得、問題に不屈の精神で向き合えるようになってきています。女の子たちは学校でのファッションショーに参加します。ショーでは、学校で作ったおしゃれなデザインの服を着てみんなの前をファッションモデルさながらに歩きます。このファッションショーに参加することで、自信と自尊心が芽生えるのです。また、学校での普段の生活にもよい影響を得ています。

また、ボーイズクラブもあり、男の子が直面する様々な問題に取り組むのを助けています。男の子が

自分に価値を見出し、人生の様々な課題を乗り越えていく力を作れるようにします。男の子たちの中には、ドロップアウトした友達からの圧力を受ける子がいます。学校を辞めてギャングに加わるように誘惑されるのです。ボーイズクラブはオギラ先生、マンボ先生が中心となって、運営しています。

これらのクラブは、子供たちが強い社会的な絆を作り、彼らの夢に焦点を合わせて生きていけるよう助けています。

音楽クラブと美術クラブも大きな取組みです。男の子も女の子も平等に参加できます。お客様が来てくださった時に歌やダンスを披露しています。お越し頂ければ、心から楽しめます！！マゴソに来られたことがない方、ぜひいらして私たちと一緒に楽しんでください！！2学期に入り、音楽大会出場のために本格的な音楽活動をやり始めています。彼らはいつも全国大会まで勝ち進んでいます！！

### OBOGクラブ

2017年度ケニアプライマリースクール卒業試験(KCPE)を受験した生徒の中には、高校(セカンダリースクール)に進学する機会を得たものがあります。現在、高校1年生から4年生までいます。

彼らの多くは、家庭の事情や経済的な事情で進学が難しかったのですが、幸運にも日本の方の支援(会報3号で紹介しました MORO 教育基金を通して様々な方に支

援して頂いております)を得ることができました。彼らは、それぞれに将来の夢に向かって、しっかりと勉強に励んでいます。医者、パイロット、エンジニア、ジャーナリスト、などなど。4月28日には、OBOGミーティング(学期ごとに定期的に行っています。)を行い、学校生活や関連する問題などを話し合います。ここには高校を卒業した生徒(大学生、社会人など)も参加します。このクラブは卒業生に指導力を発揮する機会を与えています。ミーティングの間、卒業生たちは自由にディスカッションし、積極的な生き方をしていく、良い選択をしていくための経験を分かち合います。

また、学校の休暇中にはマゴソスクールのプログラムに従事するなどして、怠けている時間はありません。

### 洋裁

ママチュチュは縫製所の責任者であり、おしゃれで、オリジナルなデザインの服やカバンを作っています。縫製所で働く人たちと一緒に作った作品は、バイヤーが絶対に選ぶ美しい仕上がりなのです(これらの作品は初夏のポレポレキャラバンで販売されています。是非、ご覧になってください。)



休みの日も給食

## マゴソ/OBOGの生徒からの手紙

会報3号で紹介しましたMORO教育基金を通して奨学金を得て、セカンダリーに進学したマゴソOBOGから、奨学金を提供してくださった支援者の方への手紙の一部を抜粋して紹介します。

### Ademba Sharon Anyango : Kaani Lions Secondary School 2年生

お元気ですか？私は神様に守られて、元気に過ごしています。高校生活のための奨学金を本当に有難うございます。学校は全寮制で、先生方、学校の設備なども素晴らしいです。将来医師になるのが夢なのでそれに必要な科目を選択し、勉強に励んでいます。これからも私や他の子供たちを助けてくださいますようお願いいたします。いつか、直接お目にかかってお話ができたらと思います。神様の祝福が皆様の上にありますように。

### Molu Halima Haro : Kaani Lions secondary School 2年生

こんにちは！お元気でお暮しのことと思います。私を支援してくださり、本当に感謝しています。失望させることがないように、しっかりと勉強に励み喜んでいただきたいと思っています。将来は観光関係の仕事に就きたいと思っています。得意科目は物理学、地理学、数学です。自分で成績目標を設定し、一生懸命勉強しています。学校の競技会ではバスケットボールに参加しました。幸せなクリスマスと新年をお迎えください。

### Samantha Akoth : Kieta Girls Secondary School 2年生

お元気ですか？私は自分の将来のために一生懸命勉強しています。成績は、クラスで30人中3位、学年では128人中12位でした。評価はA-をとることを目標にしていたのですが、B+でした。次はベストを尽くします。ご支援、本当に感謝しています。ご支援がなかったらセカンダリースクールには行けなかったでしょう。学費を準備できなかった母もご支援に感謝しています。どうか卒業までサポートよろしく願いいたします。卒業後は、私が、支援が必要な他の子や妹、弟をサポートし、より良い未来を目指します。学校は、勉強するのに十分な環境が整っています。自分の将来を見据えて勉強すれば、結果はついてくるということ常に忘れないようにし、勉強に励むことを約束します。本当にご支援ありがとうございます。神様の祝福がありますように。

### Moses Odhiambo ochieng : Kyada Secondary School 2年生

奨学金を与えて頂き感謝申し上げます。もし援助がなかったなら、私は今どこにいるのだろうと思います。学校は素晴らしい環境で、花の階段が門から管理ブロックまでつづいています。物理の専門の先生がいないので、みんなで一緒に学び合っています。私はサッカーをするのが好きで、すべてのサッカー競技に参加し、ゴールを決めました。学校では、季節によっては水をくみ上げられないので、洗濯やシャワーに困ったり、発電機の具合が悪くて電気がつかず朝や夜の学習が難しかったりします。また、もっと学習面で競いあえる生徒と一緒に学びたいと思います。成績は、クラスの48名中4位で、評価はB-でした。

# 2017年 会 計 報 告

(自 2017年 1月 1日 至 2017年 12月 31日)

## 【日本側の収支報告】

(単位:円)

収 入 の 部			支 出 の 部			
年 月	項 目	金 額	年 月	項 目	金 額	備 考
2017/04	前年度から4/10までの入金額(会費+寄付)	1,915,355	2017/04	ケニアへ送金	1,912,852	US\$17,105
2017/07	4/11~7/27 までの入金額(会費+寄付)	3,208,194	2017/07	ケニアへ送金	3,205,600	US\$28,601
2017/12	7/28~12/31 までの入金額(会費+寄付)	2,994,936	2017/12	ケニアへ送金	2,986,461	US\$26,110
				銀行手数料	7,500	
				小 計	8,112,413	
				次 年 繰 越	6,072	
	合 計	8,118,485		合 計	8,118,485	

## 【日本側収入の内訳】

(単位:円)

	項 目	金 額
収 入	前年度繰越	30,116
	給食募金	1,090,012
	音楽大会募金	377,575
	クリスマスパーティ募金	67,888
	強制撤去募金	607,000
	一般寄付	2,290,479
	物販	365,120
	会費	2,852,715
	その他	437,580
	総収入	8,118,485



はじける笑顔で2学期開始(5月2日)

## 【ケニア側の収支報告】

(自 2017年 1月 1日 至 2017年 12月 31日)(単位:Ksh)

収 入 の 部			支 出 の 部		
年 月	項 目	金 額	項 目	金 額	備 考
2017/01	前年度繰越金	878,669	マゴソ職員給料	3,044,000	
2017/01	支える会から送金 USD3,933(2016年分)	403,133	マゴソ給食費	1,864,623	
2017/02	現地募金入金 USD2000+30000ksh	234,700	マゴソファミリー生活費	741,620	
2017/03	現地募金入金 USD1000	102,400	ジュンバラワト経費	1,114,879	
2017/04	支える会から送金 USD17,095	1,759,076	音楽大会経費	286,250	
2017/04	現地募金入金 USD3000	308,100	その他の経費	271,750	
2017/08	現地募金入金 USD1000	102,600	強制撤去関連費	562,320	
2017/08	支える会から送金 USD28,591	2,933,437	銀行手数料	4,247	
2017/12	支える会から送金 USD26,100	2,649,040			
2017/12	マイシャヤラハ基金より入金	896,245	小 計	7,889,689	
2017/12	現地募金入金	271,329	次 年 繰 越	2,649,040	
	合 計	10,538,729	合 計	10,538,729	